

杜の都を共に未来へ

杜の都・仙台のシンボル広瀬川は、市中心部を流れる川でありながら、荒々しい自然崖と川岸の緑が調和する美しい景観を残しています。仙台市では、その景観や自然環境を次世代に引き継いでいくことを目指し、2005年（平成17年）に「広瀬川創生プラン」を策定。市民協働による環境保全や安全安心な川づくり、新たな魅力の創出などの取り組みを推進しています。

市民の皆さんもみどりに親しみ、一緒にみどりを育むなど、杜の都の未来のために今できることから始めてみませんか。



仲の瀬橋下から見た広瀬川。奥の橋梁を地下鉄東西線が渡る



激緑地付近の広瀬川。浅瀬が広がる緩やかな流れと、荒々しい自然崖が共存する景観



広瀬川と雪屋（おたまや）橋。ビルが建ち並ぶ市街地のそばに緑豊かな風景が広がる



広瀬川宮沢緑地付近。河川敷の清掃活動など、美しい環境は市民の手で守られている

特別協賛



みやぎの
環境保全米

JAグループ宮城

企画協賛



一般協賛

順不同